

## 資産運用レポート：季節のアノマリー

## 1. はじめに

長年、投資をされている方であれば「春先は株価が高く、秋の深まりと共に安値をつける」という感覚をお持ちかと思います。

この現象は、アノマリー（不思議）と呼ばれています。「なぜ、そうなるのか」理屈で説明できないからです。

下図は「隠れバリュー指数」ともいえる 2 部株価指数のチャートです。日経平均と比べて、トレンドがはっきりしており、分かりやすいという特徴を備えています。ここ数年、ボックス圏での値動きが続いていることもあり、はっきりとアノマリーがでています。

- 1 1月頃に安値をつけて、そこから一気に上昇
- 3～4 月に高値をつけた後、急落
- 1 度はリバウンドするものの、再度だらだら下げる

そうであれば、株価の上がりやすい紅葉の季節から新緑のシーズンまで投資を行い、田植えの時期から再び紅葉が始まるまで投資を休むというやり方が考えられます。

今回の資産運用レポートでは、この「季節のアノマリー」を活用した投資手法について取り上げます。

## ★ 2 部株価指数 株価チャート

